

チーム・ミーティング

オーラルワイジションとは「患者さんの口腔内を生涯にわたって疾患の発症と再発を予防する人材」をいい、提唱者である熊谷先生のセミナーを受講、合格することで資格を得ます。7月初旬、オーラルワイジションとそのスタッフが全国から参集して開かれたチーム・ミーティングに、副院長と主要スタッフが参加しました。裏面からはその特集です。

〈ヒルマトキオのホッとひと息〉は、タイトルに相应しにくいタメ息の出る内容ですが、記憶に留めるためにあえて書きました。交遊録から名前を削除するときの気持ちは堪え難く重いものでした。許すまじ犯人。

歯科衛生士(その2)

一年前、日本ヘルスケア歯科研究会が、歯科衛生士法の改正を求めて5万余名の陳情署名を添え、厚生労働大臣に要望書を提出しました。歯科衛生士法は平成元年の第8次改正をもって現在の形になっていますが、継ぎ接ぎ的に改正されてきたこともあって規則の定義が必ずしも明確でなく、誤解を招きやすい制限や文言のために、歯科衛生士の立場を不当に低めてきた憾みがあります。歯科衛生士を予防歯科の要ととらえる歯科医師にとつて、歯科衛生士法のさらなる改正は喫緊の命題です。

世界に目を転じると、米国の少なくとも31の州で歯科衛生

士が局所麻酔をすることを許可しており、いくつかの州と、北欧、オランダ、ドイツ、スイスなどのヨーロッパ諸国、ニュージーランドでは歯科衛生士の独立した診療(つまり開業)を認めています。口腔衛生の先進諸国では、歯科医師と歯科衛生士が専門性を活かし、対等に患者と接しているのです。歯科衛生士の専門性の認定と独立の許可について、国民の歯科保健にとつて有益か否かという視点で考えれば、日本でも論を待たないはずで、歯科衛生士法の改正を求める意味はすぐれてこの点にあります。

最新の Dental Tribune 紙は、米国ミネソタ州の歯科衛生士協会が「ADHP(上級歯科衛生士)の資格を定める法案」支持を報じています。ADHPの役割は「歯科保健において歯科医師と歯科衛生士の中間に位置し、専門資格を持つて口腔衛生活動を行なうこと」と説明されています。同紙によるとすでにカナダ、イギリス、オーストラリアなど40カ国以上でADHPの資格が定められており、この記事からも専門職である歯科衛生士の社会的地位が、日本ではまだまだ低いことがよく分かります。

ひるまだより

2008.07 vol.22



医療法人社団 トモニアム
ひるま矯正歯科
Hiruma Orthodontic Office

立川市曙町2-9-1 菊屋ビルディング2F
TEL:042-526-3376/FAX:042-528-1102
URL:http://www.hiruma.or.jp/

スタッフリレーエッセイ



ひるま矯正歯科
歯科衛生士
會澤 悠

初めまして、歯科衛生士の會澤悠です。やたらとゴミゴミした漢字を書きますが、アイザワルカと読みます。私がひるま矯正歯科に勤め始めたのは5月ですが、実は去年の今ごろから矯正患者として通っていました。今も矯正中で装置を付けています。

私は小さい頃、歯磨きが大嫌いな子供でした。それがなぜか、歯磨きの大切さを伝える歯科衛生士という職業に就いてしまいました。そんな私から矯正中の

方にオススメしたいものがあります。それは歯間ブラシです。私はL字形の歯間ブラシをタブトブラシと普通の歯ブラシの補助として使うのですが、歯間ブラシで磨く場所は、ワイヤの裏に隠れたブラケットとブラケットの間の歯面と、抜歯部位など広く空いた隙間に面した歯面です。磨くときのポイントは鏡を見ながら磨くこと、力を入れ過ぎないこと。矯正中の口の中を磨くには、ブラシの太さにこだわる必要もなく、気軽に使えてとても重宝です。三種類ものブラシを使うのは大変と思うかもしれませんが、磨き終わった後のスッキリ感は格別です。三種類のブラシを見ながら、自分はこれを使いこなしているんだ! というのもひとり悦に入っている私です。

ヒルマトキオのホッとひと息

無差別殺人——カッチャンの死

6月8日午後、歩行者天国にぎわう秋葉原の交差点を男の運転するトラックが猛スピードで走り抜け、通行人ははねたあと男はさらにダガーナイフで無差別に人を切りつけるという、稀にみる凄惨な事件が起こりました。日曜の昼下がり、何気なく観ていたテレビから刻々と状況が伝わってくるなかで、亡くなられた被害者の中にナカムラカツヒコ(74)という文字を見て、悪い予感が頭をよぎりました。誤報もあつてなかなか正確な情報が掴めませんでした。夜遅く被害者は心配していた中村勝彦先生その人と判明しました。先生は大学のずっと上の先輩ですが、誰からもカッチャンの愛称で呼ばれ、人懐っこい笑顔でいつも輪の中心にいる明るく楽しい人でした。私が立川で開業を考えたときまず相談したのが、すでに矯正専門で開業して立川の地に詳しく人脈もあるカッチャンでした。有力な人を紹介していただき、希望どおりに開業することができたのはひとえにカッチャンのお陰でした。

カッチャンとは家族同士の親交もあり、年の瀬にはご夫妻を中心に数組の夫婦が集い、ちよつと贅沢な食事をするのが恒例でした。また、カッチャンの清里の土地に数組の家族が集まりバーベキューパーティーをしたとき、小学6年生だったわが家の息子がカッチャンはオートバイの運転を教え、草原を走らせて息子を大いに歓喜させたヤンチャな人でもありました。モントリオールで開かれた矯正歯科学会に3組の夫婦で出掛けたこともありました。学会の合間に、英語が堪能で旅慣れたカッチャンを通訳に異国の街での買い物や食事を堪能したのも楽しい思い出です。

数カ月前に久し振りに電話があり、20分ほど世間話をしたのが最後の会話になりました。運転が好きで車をこよなく愛したカッチャンが、その車を凶器にして轢き殺されるとは何と皮肉で残忍なことでしょう。歯科医院を二カ月前に閉院したため新聞は無職中村勝彦(74)と書きましたが、有能な矯正医であつたカッチャンは私には大きな大きな存在でした。いまでもこの事件のニュースを聞くたびに無念のため息が出ます。

- ▼8月12日(火)〜15日(金)夏季休暇のため休診(11日(月)は午前中のみ診察です。)
- ▼9月15日(月)〜18日(木)学会出席のため休診です。
- ▼通院条件改善のためアンケート調査を行なっています。ご協力をお願いいたします。
- ▼「下キョメンタリー 矯正治療」と「アンチエイジング」は休載です。